



1984.4.14 第1次チエルタルド市使節団来町



10周年で寄贈の「甘楽庵」

【節目の記念事業】



10周年共同宣言



20周年記念植樹



20周年 イタリア街道・記念碑

国際交流の推進母体として一九八八年に財団法人として設立され、文化・語学講座の開催、会員による使節団派遣、協会報の発行、使節団受け入れ時のホームステイにおける協力・支援など諸事業を実施しており、協会を通じて多くの会員、町民の方々に協力をいただいています。

【「甘楽町国際交流振興協会」】



25周年モニュメント前にて



25周年共同宣言（左）後に握手を交す両首長

友好の絆はさらに堅く未来へ

甘楽町とイタリア・チエルタルド市（チエ市）の交流は、一九八三年一月二〇日、友好親善姉妹都市協定締結以来、25周年を迎えました。当時は、小さな自治体間の国際交流は珍しいものでしたが、次代を担う青少年の育成などを目的とした両市町間の交流は、多くの関係者の理解と協力により発展してきました。チエ市で開催された記念事業には、町長を団長として、町議会及び国際交流振興協会（国交振）の代表10名で組織した使節団が派遣されました。

【25周年記念事業】

記念事業は、チエ市の子どもたちによる記念碑除幕式とモニュメント



25周年記念碑を囲むチエルタルド市の子どもたち

の披露にはじまり、プレトリオ宮殿での記念式典では、「両市町の強い繋がりがこそが、日伊両国ひいては世界の平和と繁栄に貢献できることを確信し、友情の絆を堅固なものとしていく」との決意が、改めて友好的で、厳肅の中にも、極めて友好的で、和やかな雰囲気で行われました。

また、夕食会は甘楽町を訪れた子どもたちが催し物を企画し、ボランティアの皆さんにより調理・設営されたものでした。滞在中は、市長をはじめ、チエ市民の熱烈的歓迎と温かいおもてなしを受け、四半世紀に及ぶ交流が培ってきた深い友情に包まれました。

【「一粒の麦」】

使節団や青少年の相互派遣、文化交流、経済交流など、刻々とともに友好の絆を強め推進されています。25年前、先見の目をもって当時の関係者によって蒔かれた「一粒の麦」は、多くの人々に育まれながら、しっかりと根を張り、大きく育ってきています。

姉妹都市協定 提携 25周年記念 第10次チエルタルド市訪問使節団員	
茂原 荘一	甘楽町長
茂原美代子	町長夫人
田中 修三	議会議長
江原 宏	議会議員（監査委員）
福島 章一	議会議員（社会常任委員長）
井上 伸栄	（財）甘楽町国際交流振興協会会長
富岡 古男	（財）甘楽町国際交流振興協会副会長
黛 哲夫	議会議員（財）甘楽町国際交流振興協会副会長
小澤 嗣生	随員（企画課企画調整係）
一ノ瀬俊和	通訳